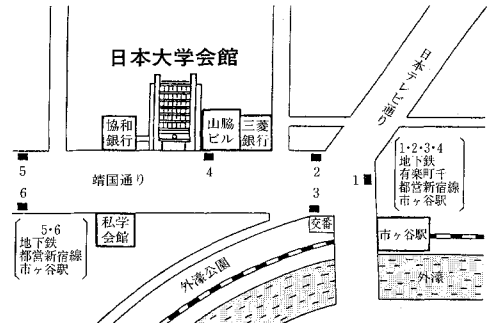


第21回海洋開発シンポジウム

▶ 7月4日(木)～5日(金) ◀

下記により標記シンポジウムを開催致しますので、多数ご参加下さいませようお願い致します。

1. 主催 催：土木学会（担当：海洋開発委員会）
2. 期 日：1996年7月4日（木）～5日（金）の2日間
3. 場 所：日本大学会館（千代田区九段4-8-24）
TEL.03-5275-8112
○交通：Jr総武線、地下鉄有楽町線・南北線
「市ヶ谷駅」下車、徒歩3分
4. 論文集：当日会場で実費頒布致します。（予価：6,000円）
5. 参加方法：当日会場で参加費2,000円をお支払いの上、ご参加下さい。（事前申込みは必要ありません。ただし、参加費、論文集代について必要書類等あります場合は係までお問合せ下さい。）
6. 係：土木学会海洋開発委員会（担当 林）
TEL.03-3355-3559 FAX.03-5379-0125
7. プログラム：1論文20分（発表15分、討議5分）



会場案内図

第1日目（7月4日（木））

第一会場（2F・講堂）

9：00～9：10 開会挨拶

海洋開発委員会委員長 佐伯 浩

9：10～10：30 （波浪）（司会：小島・友広）

- | | | |
|---|---------|-------------------------|
| (1) 流れおよび水深の急変動を考慮した双曲型波動方程式 | 京都大学 | ○間瀬 肇、ニュージエック 神原 弘・三島豊秋 |
| (2) 境界要素法による波動場解析におけるDoublet形特異関数の境界上積分精度 | 北海道東海大学 | ○工藤康一・浜中建一郎 |
| (3) 境界要素法を用いた平面2次元波動場解析における開境界条件の検討 | 北海道東海大学 | ○野村圭司・浜中建一郎 |
| (4) Green関数を用いたフレキシブルシート回りの波動場解析一断面2次元及び3次元 | 北海道東海大学 | ○先川 信・浜中建一郎 |

10：30～10：40 休憩

10：40～12：00 （波と流れ）（司会：友広・小島）

- | | | |
|-------------------------------------|--------|--------------------------|
| (5) 剝離を伴う波動場中の円柱に働く流体力とMorison式の係数 | 北見工業大学 | ○佐藤幸雄・奥村慎也、北海道東海大学 浜中建一郎 |
| (6) 潜堤上戻り流れによる碎波の流速場の時間変化 | | 八戸工業高専 南 将人 |
| (7) 碎波帯内における流れと流体の乱れに関する考察 | 北海道大学 | ○渡部靖憲・森 憲広・佐伯 浩 |
| (8) 急勾配海底地形における衝撃碎波力の発生と対応に関する実験的考察 | 運輸省 | 藤崎治男・○笹田 章・高橋佳克 |

12：00～13：00 昼食・休憩

13：00～14：20 （波、その他）（司会：酒井・友広）

- | | | |
|---------------------------------------|-------|-----------------------|
| (9) 波と流れと海底地形の相互干渉に関する実験的研究 | 長崎大学 | M.H.ジャマン・富樫宏由 |
| (10) 沿岸漂砂量公式に用いる年平均波 | 東北大学 | ○眞野 明・沢本正樹 |
| (11) 地盤条件の差異による海洋構造物まわりの地震時動水圧の特性について | 熊谷組 | ○森田知志、愛媛大学 中村孝幸 |
| (12) 波により潜水着底式構造物から発生する音の特性に関する実験的研究 | 名古屋大学 | ○水谷法美・小島 航・金 俊佳・岩田好一朗 |

14：20～14：30 休憩

14：30～15：50 （波浪制御）（司会：酒井・清水）

- | | | |
|--|--------|-----------------------------|
| (13) 水面下に透過部を有する鉛直堤の波浪制御に関する基礎的研究 | 日本大学 | ○落合 実・遠藤茂勝 |
| (14) 海水交換機能を有する直立消波ケーソンの開発 | NKK | ○塩崎禎郎・磯崎総一郎・中村 滋・堀内 博 |
| (15) ステップスリットケーソンの適用性についての検討（第1報）一反射率についての検討 | 東洋建設 | ○安 成模・藤原隆一・倉田克彦、大阪市立大学 角野昇八 |
| (16) 透過性構造物による波浪変形実験に関する信頼性と縮尺限界 | 大阪工業大学 | ○井田康夫・小林 悟、修成建設専門学校 須貝輝博 |

15：50～16：00 休憩

16：00～17：00 （波浪制御）（司会：清水・鹿籠）

- | | | |
|--------------------------------|---------|---|
| (17) 立体網状マットによる風と波の制御に関する実験的研究 | 北海道工業大学 | ○村木義男・佐伯 浩、水域環境コンサルタント 藪下孝雄 |
| (18) 親水性防波堤警報システム「クジラくん」の開発 | 北海道開発局 | ○早川哲也・遠藤仁彦・笹島隆彦・水野雄三・浮津憲一 |
| (19) 網製型人工リーフに関する研究 | 九州大学 | 戸原義男、漁港漁村建設技術研究所 高木伸雄、鳥取大学 松原雄平、日本大学 増田光一 |

17：00～17：10 休憩

17：10～18：10 （潜堤）（司会：鹿籠・清水）

- | | | |
|-----------------------------|--------|--------------------------------|
| (20) 潜堤上の波形解析と実験 | 長岡工業高専 | ○吉田 茂、長岡技術科学大学 早川典生・細山田得三 |
| (21) 潜堤に斜め入射した波浪の波高低減に関する実験 | 運輸省 | ○河合弘泰・工藤 巧・榎本達也・平石哲也、若葉建設 上原 功 |

●第2回海洋開発シンポジウムプログラム

- (22) 渚堤背後の水位上昇の抑制効果を有する新形式渚堤開発のための基礎的研究
 運輸省第四港湾建設局 和田 信・坂本光信・○原口芳樹, 九州大学 入江 功, 三井共同建設コンサルタント 廣畑彰一

第二会場 (2F・講堂)

- 9:10~10:30 (棧橋, 岸壁, 他) (司会:古金・関田)
 (23) 国内初のSPS (単杭ドルフィン) の建設 東燃テクノロジー 大森弘一・福島敬三・佐藤峰幸, 大成建設 ○尾高義夫・柴原信之
 (24) 神戸港・緊急コンテナ棧橋の設計施工一歩レハブ式棧橋の試み一
 運輸省 ○及川 研・高岡佳輝, 東洋建設 前田 敏, ポートコンサルタント 古川 清
 (25) ジャケット式岸壁による災害復旧一神戸港中突堤復旧工事におけるジャケット式岸壁の設計・施工一
 運輸省 及川 研・池上勝己・丸岡 初, 五洋建設 升田 清, 新日本製鐵 ○山本邦弘
 (26) 不規則波に対する配列式沖合防波堤の波浪制御効果について 愛媛大学 ○中村孝幸, 熊谷組 森田知志, 東亜建設工業 岩崎和弘

10:30~10:40 休憩

- 10:40~12:00 (浮体動揺) (司会:関田・古金)
 (27) 独立カラム型浮体橋梁の波浪応答特性に関する研究 京都大学 渡邊英一・宇都宮智昭, 東亜建設工業 ○相馬武征
 (28) 3Dトラッカーによる船体動揺の現地計測 神戸商船大学 ○齋藤勝彦・久保雅義, エムテック 笹沢茂夫
 (29) 沖合洋上建設工事における海気象予測と起重機船動揺低減のための制振装置の開発
 白島石油備蓄 ○鍛冶壮吉, 石川島播磨重工業 牟田口勝生, 海洋気象情報 杉原敏之, ハザマ 宮本好英
 (30) 長周期波共存場における船体動揺の軽減に資する係留対策
 運輸省 田端竹千穂・田所篤博・山口 豊・高橋伸一・白石 悟・石見 剛, エコー ○永松宏一

12:00~13:00 昼食・休憩

- 13:00~14:20 (浮体の効果) (司会:関田・古金)
 (31) 波向きに追従する浮き構造体の動作機構 茨城大学 ○野北舜介, 関電工 萩谷 崇
 (32) 船舶の橋梁への衝突事故分析および小型船舶の防衝工への衝突シミュレーション 運輸省 ○白石 悟・内藤了二
 (33) 浮防波堤の動揺特性に及ぼす波漂流力の減衰力の効果について 愛媛大学 中村孝幸・井出善彦, 五洋建設 ○大森禎敏
 (34) 河口部に設置された浮防波堤の河川流への影響と消波性能
 広島県 福田和國・高丸泰忠, 中電技術コンサルタント ○日下 理・平岡辰男・保木本秀行

14:20~14:30 休憩

- 14:30~15:50 (波力発電, 他) (司会:山本・矢内)
 (35) 防波堤利用による波力発電の実用化に関する研究 (第II期実証実験)
 運輸省 大津光孝・田所篤博・高橋重雄, 沿岸開発技術研究センター ○喜島恭彦・安西俊直
 (36) 防波堤利用による波力発電の実用化に関する研究一波エネルギー利用技術のケーススタディー
 運輸省 高橋重雄, 三井造船 小宮俊夫, 若築建設 堀江俊郎, 本間組 森田博夫, 緑星社 近藤信雄
 沿岸開発技術研究センター 喜島恭彦・○安西俊直
 (37) 水弁集約式波力発電システムにおける整流弁 (水弁) の損失特性 東北大学 ○佐藤英貴・佐藤栄司・沢本正樹
 (38) サクシオンケーソン周辺地盤の応答特性 舞鶴工業高専 ○高谷富也, 日本大学短大 前野賢彦, 運輸省 高橋重雄・下迫健一郎

15:50~16:00 休憩

- 16:00~17:00 (海洋土質) (司会:山本・矢内)
 (39) 圧密パラメータに及ぼす供試体の寸法効果 防衛大学 ○正垣孝晴・三輪和美
 (40) 原位置の圧密パラメータの推定と圧密沈下予測 防衛大学 正垣孝晴・○丸山仁和
 (41) 小径倍圧型水圧サンプラーで採取した試料の強度特性 防衛大学 正垣孝晴, 興亜開発 ○須藤剛史

17:00~17:10 休憩

- 17:10~18:10 (洗掘, 他) (司会:矢内・山本)
 (42) 魚礁周辺の局所洗掘の特性に関する実験的研究
 名古屋大学 ○金 俊圭・水谷法美・神野夏樹・岩田好一朗, ポートコンサルタント 古川 清
 (43) 変動圧付加振動流場での間隙水圧と砂移動に関する実験的研究 北海道大学 山下俊彦・○伊藤慎一・山本 明・南村尚昭
 (44) 運動方程式に基づく透水礫層内外の水理特性の線形解析 大阪市立大学 ○角野昇八・山野恵一

第2日目 (7月5日 (金))

第一会場 (2F・講堂)

- 9:10~10:30 (波浪制御) (司会:原田・小田)
 (45) 潮位の発生確率分布と防波堤の安定性について 運輸省 ○河合弘泰・藤咲秀可・鈴木康正
 (46) 港内長周期波の対策工法に関する模型実験 運輸省 ○藤咲秀可・丸山晴広・平石哲也
 (47) 二重渚堤による波高減衰効果に関する実験的研究
 西村組 ○佐藤正樹・川合邦広, 北王コンサルタント 北村泰介, 北海道開発局 宮部秀一, 北海道大学 佐伯 浩
 (48) 半円形防波堤の現地実証試験について 運輸省第四港湾建設局 山下廣行・和田 信・大釜達夫・小林郁美・田中克己・○藤井 肇

10:30~10:40 休憩

- 10:40~12:00 (越波) (司会:小田・原田)
 (49) 消波工を有する緩傾斜埋立護岸の越波特性に関する実験的研究
 運輸省 藤崎治男・笹田 彰・高橋佳克, 玉野総合コンサルタント ○森川高徳
 (50) 消波護岸への越波に関する現地観測
 電力中央研究所 ○榊山 勉・鹿島遼一, 東京電力 今井澄雄, 五洋建設 清水琢三・片山裕之
 (51) 渚堤による砕波特性とその内部機構に及ぼす波と渚堤の幾何スケール比 名古屋大学 岩田好一朗・○川崎浩司・安藤敏宏
 (52) 北部九州の沿岸域における空気中海塩粒子の分布に関する計測調査 九州共立大学 片山正敏

●第21回海洋開発シンポジウムプログラム

- 12:00~13:00 昼食・休憩
 13:00~14:20 (漁港・マリナー) (司会:原田・小田)
 (53) 漁港における水面多目的利用とその課題
 北海道開発局 明田定満・長野 章・谷野賢二, パシフィックコンサルタンツ ○古屋温美
 (54) 漁港周辺における生態系保全の状況と漁港漁村整備方式について
 漁港漁村建設技術研究所 ○児玉いすみ・木田三次, エコニクス 小山康吉
 (55) 都市臨海部のホテル付帯施設における利用状況および利用者の意識—マリナーおよびテニスコートにおけるアンケート調査結果—
 九州共立大学 片山正敏
 (56) 全国行政区別におけるマリナーの適正保管料金設定の試み
 東急建設 渡会英明
- 14:20~14:30 休憩
 14:30~15:50 (海水) (司会:伊藤・辰巳)
 (57) 様々な載荷条件における浮水盤の耐力について
 北海道大学 ○大久保泰弘・本田秀樹・山下俊彦・佐伯 浩
 (58) 平板に作用する衝撃水力に関する実験的研究
 北海道大学 花田真州, 西村組 川合邦広・佐藤正樹, 北海道開発局 早川哲也・佐伯 浩
 (59) 円断面杭に作用する衝撃水荷重に関する研究
 北海道開発局 笹島隆彦, 西村組 川合邦広・佐藤正樹, 北海道大学 花田真州・佐伯 浩
 (60) 楕円断面を有する直立構造物に作用する鉛直水荷重
 日立造船 木岡信治, 北海道大学 西畑昭史・佐伯 浩, 島田建設 成田恭一, パシフィックコンサルタンツ 寺島貴史
- 15:50~16:00 休憩
 16:00~17:00 (海水) (司会:伊藤・辰巳)
 (61) フラッキング状態の水盤の耐力
 北海道大学 本田秀樹・佐伯 浩, 五洋建設 大久保泰宏, 日立造船 木岡信治, パシフィックコンサルタンツ 寺島貴志
 (62) オホーツク海における北海道とサハリン沿岸域海水の一軸圧縮強度について
 北海道大学 正木孝治・本田秀樹・河合孝治・佐伯 浩, 北日本港湾コンサルタント 大塚夏彦
 (63) Ice Gougingのモデル化とその適用性に関する研究
 日立造船 木岡信治, 北海道大学 寺井由利子・佐伯 浩, 島田建設 西横秀如, 北日本港湾コンサルタント 松田敦美
 北海道パブリックコンサルタント 田畑真一
- 17:00~17:10 休憩
 17:10~18:10 (海水, 他) (司会:辰巳・伊藤)
 (64) 寒冷地に建設される浮体構造物に対する氷の影響について
 北海道開発局 笹島隆彦・早川哲也, パシフィックコンサルタンツ ○寺島貴志, 西村組 山角浩一
 オホーツク流水科学研究所 浜岡荘司, 北海道大学 佐伯 浩
 (65) 氷荷重に関する中規模野外実験における構造物と氷盤の相互作用について
 清水建設 ○竹内貴弘・赤川 敏, 大成建設 青島正和・酒井雅史, 三井造船 松下久雄
 パシフィックコンサルタンツ 寺島貴志, 北海道大学 佐伯 浩
 (66) 重相関係数を用いた衛星マルチバンド・データによる海深度の推定
 長崎大学 ○前岡英一郎・後藤恵之輔, 近畿大学 森 正寿
 海洋開発委員会副委員長 原田 宏
- 18:10~18:15 閉会挨拶
- 第二会場 (2F・講堂)
 9:10~10:30 (海浜変形) (司会:田中・山下)
 (67) ポケットビーチにおける海浜変形の分析—京都府浅川海岸を実例として—
 建設省 宇多高明, 京都府 関西浩二, 国際航業 ○西岡陽一
 建設省 宇多高明・山本幸次, 建設技術研究所 ○戸川光司
 (68) 穴道湖の湖浜変形に関する一考察
 建設省 宇多高明, 静岡県 戸塚昌久, 三井共同建設コンサルタント 柿市勝重
 (69) 沼津牛臥海岸における養浜工と安定汀線の検討
 建設省 ○宇多高明, 建設省 宇多高明, 海岸研究室 ○芥沢真澄
 (70) 浜崖の形成機構に関する一考察
- 10:30~10:40 休憩
 10:40~12:00 (海浜変形・海岸特性) (司会:宇多・田中)
 (71) 伊良湖西の浜海岸の海岸過程に関する考察
 玉野総合コンサルタント ○村上宗崇, 名古屋大学 青木慎悟・岩田好一郎
 (72) 日本海(東海)沿岸における海水面の変動と海岸侵食に関する基礎的研究
 鳥取大学 ○孫 彰培・野田英明・松原雄平・黒岩正光・姜 孝辰
 岐阜工業高専 ○中山順二・和田 清, 国際航業 小野木康介
 (73) 伊勢湾沿岸域における海岸環境特性の評価に関する研究
 (74) (欠 番)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
 13:00~14:20 (河口処理, 他) (司会:山下・宇多)
 (75) 河口処理と海岸保全の関係—山口県綾羅木海岸の例—
 建設省 宇多高明, 山口県 重枝 実, 日本治水コンサルタント ○本田隆平
 (76) 人工リーフを用いた河口処理工の検討—乙大日川の河口を例として—
 建設省 宇多高明・皆本重雄・五十嵐新治・○柿市勝重, 三井共同建設コンサルタント 大森慎二郎
 (77) 離岸堤・防波堤の建設が河口に及ぼす影響に関する事例検討
 建設省 宇多高明, 東海大学 酒匂敏次・○野村光寿
 (78) 「長崎港常盤・出島地区臨港緑地計画」の都市環境上の意義
 長崎大学 後藤恵之輔, 日本設計 ○横松宗治
- 14:20~14:30 休憩
 14:30~15:50 (環境と生物) (司会:宇多・田中)
 (79) 閉鎖性水域における海浜公園の生物生息について
 東京都港湾局 ○和野信市, 開発計算センター 吉田昌稔, 日本大学 寺中啓一郎

●第21回海洋開発シンポジウムプログラム

- (80) 藻場造成に伴うホッカイエビ生息条件の解明 北海道立中央水産試験場 ○瀬戸雅文・櫻井 泉、北海道大学 松岡 学・山下俊彦
 (81) 振動流場での二枚貝の放出限界と潜砂限界 北海道大学 山下俊彦・○木下大也・和田 彰、北海道開発局 明田定満・谷野賢二
 (82) 寒冷地におけるアサリ漁場の底質環境について 北海道開発局 ○阿久津孝夫・明田定満・谷野賢二

15:50~16:00 休憩

16:00~17:00 (環境と生物) (司会:坪田・田中)

- (83) 生物との共生をめざしたタイトプールの造成に関する現地調査 関西大学 井上雅夫・鉄川 精・島田広昭・○柄谷友香
 (84) 石炭灰系廃棄物を利用した効果的な藻礁(ピオユニット)の研究 日本データサービス 川嶋昭二・小林 創・鳴海日出人・黄金崎清人
 (85) 汚濁防止膜への付着生物による海洋環境の評価 日本大学短大 ○石川元康・前野賢彦、海洋工事汚濁防止協会 田中克往・堀 昌策・川本博文

17:00~17:10 休憩

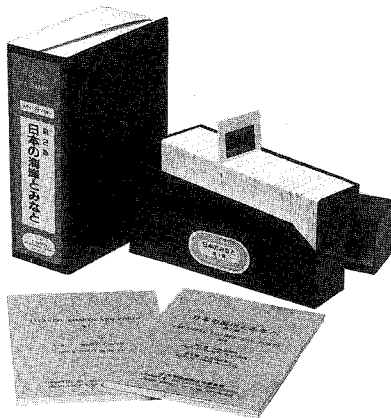
17:10~18:10 (環境) (司会:田中・坪田)

- (86) 環境保全型潜堤に関する実験的研究 九州産業大学 ○奥菌英明・高橋克佳・阿部孝行・前田 建・我原弘昭
 (87) 岩礁海岸における物理環境条件と生態系に関する一考察 北海道開発局 ○伊東公人・谷野賢二・明田定満
 (88) 人工衛星リモートセンシングによる大村湾の海水交換の調査とシミュレーション・システムの相似性確認への応用 長崎工業技術センター ○兵頭竜二、長崎大学 後藤恵之輔・全 炳徳

8. 懇 親 会:第1日目7月4日(木)終了後、「懇親会」を開催致します。講演者の方々はもとより、聴講者の方々の多数のご参加をお願いいたします。参加申込み、参加費は当日会場にて申し受けます。(参加費:3,000円の予定)

会場:日本大学会館地下レストラン

BOOK
PICK UP



■構成:海岸編 1-2冊、みなと編 1-10冊
 写真集「日本の海岸とみなと」第2集」A4判・219頁
 定価14,000円 会員特価12,600円(≒60%)
 スライドライブラリー「日本の海岸とみなと」第2集」
 定価64,000円(≒100%)
 写真集とスライドライブラリーの内容はまったく同じです。解説はいずれも和文と英文の両方で書かれています。



日本の海岸とみなと 第2集

「日本の海岸とみなと」第2集は、合計240コマの写真をつかって、変化に富んだわが国の自然海岸や海岸災害の状況、新しい保全工法、港湾と漁港の姿、さらに魅力あふれる沿岸域創造の試み等を紹介している。写真集とスライドライブラリーとが刊行されており、大学や研究所での講義、現場でのPRなどに幅広く利用できるように編集されている。また、解説はすべて和文と英文との併記になっているので、外国での講演やプレゼントにも最適である。

●お問い合わせ先

出版元:土木学会・出版事業課

TEL 03-3355-3445(ダイヤルイン) FAX 03-5379-2769

発売元:丸善(株)・出版事業部

TEL 03-5684-5571 FAX 03-5684-2456